

基礎交付金事業実績書

団体名：とよまコミュニティ運営協議会

1 総事業費 2,651,045 円

2 事業内容

(1) 事業名 地域資源活用事業

事業費	320,224 円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆住民ニーズに沿った「憩いの場」づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・場 所：「寺池城址公園」及び「登米総合体育館前緑地広場」 ・取組期間：年間 ・内 容：「寺池城址公園」「登米総合体育館前緑地広場」の整備について、行政との意見交換および遊具等設置に向けた検討を継続する。 ◆自然や歴史文化の伝承につながる「とよマップ」ツアー狐ヶ森 <ul style="list-style-type: none"> ・場 所：入谷大日神社～狐ヶ森（登米町入谷地区） ・開催日：10月30日（日） ・内 容：『とよまっぷ』に掲載されている入谷地区にある神社、狐ヶ森、館跡を歩きながら巡るツアーを実施 ・参加者：15名 ◆花いっぱい活動 <ul style="list-style-type: none"> ・場 所：登米町内 ・取組期間：6月～12月 ・内 容：町内の快適な生活環境づくりに資するため、町内会や教育機関等が行う花壇の植栽等に要する経費に対して補助金を交付。県認定のスマイルサポーターとして、県道植樹帯の緑化活動の一環として、登米町道路愛護会と奏海の杜との協働により、取組み団体名の表示サインを更新し設置した。
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・園内のベンチを増設する計画の検討会が開催できず進展していない。引き続き地域、行政と連携し検討していく。 ・町民の郷土愛を育んでもらうことを目的として開催。雨で2度中止後10月30日に好天に恵まれ実施。地域の歴史等に興味や関心を持つきっかけとなった。 ・取組み団体数：本年度15団体（11町内会及び4団体）前年度14団体 ・主要幹線道路脇花壇等の美化に寄与するとともに、植栽作業を通じて参加者相互の親睦と交流が図られた。

(2) 事業名 世代間交流促進事業

事業費	1,679,777 円
-----	-------------

事業内容

◆第75回とよま地区市民体育大会

- ・開催予定日：6月19日(日)
- ・内容：スポーツ行政区対抗による運動会競技の実施
※新型コロナウイルス感染症拡大の観点から中止

◆とよま盆おどり大会

- ・場所：登米公民館(駐車場)
- ・開催予定日：8月15日(月)
- ・内容：とよま盆唄および囃子の伝承。準備段階で消耗品等を購入した。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催直前に中止となった。

◆第49回とよま文化祭(展示の部)

- ・会場：登米公民館(大集会室)
- ・開催日：10月23日(日)
- ・内容：生け花、幼児・児童の工作、手芸、写真等の作品展示
- ・特別企画：①「日本の国のかたち」～鎮守の杜と日本人の心の原風景～
伊達宗弘氏による講話会を開催
②町内飲食店出店(テイクアウトのみ)
③ミニ縁日コーナー(高校生ボランティアによる出店)
④eスポーツ体験
⑤ワークショップ
⑥軽トラ市

- ・来場者：345名

◆第9回とよま芸能ふれあいまつり(芸能の部)

- ・会場：登米公民館(大集会室)
- ・開催日：11月6日(日)
- ・内容：芸能団体の発表の場、及び伝統芸能の演出
- ・来場者：537名

◆凧づくり交流・第1回

- ・会場：登米小学校・対象者：6年生
- ・開催日：1月27日(金)
- ・内容：3年ぶりの開催となるとよま凧あげ大会に向けて、登米小学校6年生を対象に手づくり凧を作製し、その過程を通じて完成した時の達成感や講師との親睦・交流を図る。

- ・参加者：児童33名、講師7名、職員3名 計43名

◆凧づくり交流・第2回

- ・会場：登米小学校・対象者：6年生
- ・開催日：2月2日(木)
- ・内容：凧の尻尾付けと校庭で凧あげ実施
- ・参加者：児童33名、講師5名、職員3名 計41名

◆気軽に集まれる「空間」確保及びキッカケづくり

事業内容	<p>①壁面アート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会 場：登米公民館（談話室） ・開催日：6月14日(火) ・内 容：「気軽に集まれる空間づくり」の一環として、登米在住の立体造形作家、つだかおり氏がウッドボードに壁面アートを描いた。 <p>②壁面アート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会 場：登米公民館（談話室・玄関） ・開催日：12月6日(火)、12日(月) ・内 容：6月に製作した「壁面アート」に子どもたちがクリスマスの飾り付けを行った。 ・参加者：5名 <p>◆地域づくりお役立ちセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会 場：登米公民館（和室） ・開催日：10月23日(日) ・内 容：「日本の国のかたち」～鎮守の杜と日本人の心の原風景～と題した、伊達宗弘氏による講話会を開催 ・参加者：30名 <p>◆とよま伝統芸能伝承会 喜多流能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会 場：伝統芸能伝承会「森舞台」 ・開催日：7月30日(土) ・内 容：伝統芸能伝承活動の一環として登米謡曲会・会員募集チラシの配布を喜多流能、森舞台公演実施時に行った。 ・来場者：約300名 <p>◆とよま伝統芸能伝承会第1部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会 場：伝統芸能伝承会「森舞台」 ・開催日：11月3日(木) ・内 容：会員の活動継続意識の高揚と後継者発掘を目的に、新会員の発表の場として開催 ・参加者：94名 <p>◆とよま伝統芸能伝承会第2部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会 場：伝統芸能伝承会「森舞台」 ・開催日：11月13日(日) ・内 容：会員の活動継続意識の高揚と後継者発掘を目的に開催 ・参加者：139名 <p>◆歌声かふえ♪若いひろば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会 場：登米公民館（講座室） ・開催日：2月17日(金) ・内 容：童謡、歌謡曲、懐メロなど誰もが知っている曲を参加者皆で歌うことにより、心身のリフレッシュと世代間の交流を促進 ・参加者：15名
------	---

	<p>◆ぬりえコンテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会 場：登米公民館（ロビー・談話室） ・募集期間：12月22日(木)～1月16日(月) 入賞発表：1月20日(金) ・内 容：新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた非接触型の事業として、家庭における郷土愛を育むことを目的に、登米町在住または通学通園する未就学児～高校生を対象に募集。それ以外にも町内の高齢者施設特定非営利活動法人奏海の杜にも案内を配布し、集まった作品を館内及び町内商店、観光施設に展示 ・参加者：105名
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・例年6月の第3日曜日に開催していた体育大会を、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から4月に中止を決定。地区会長他関係団体に通知した。 ・とよま盆踊り唄及び囃子の伝承。登米高吹奏楽部による演奏、新しい盆踊りの「盆ダンス」も依頼していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催直前に中止とした。準備段階で需用費、委託料、旅費等を支出した。 ・幼児、児童、中高生、高齢者施設利用者の作品を展示するとともに、特定非営利活動法人奏海の杜の展示ブースを設置、一般からは公民館事業の参加者の作品を展示することにより、製作意欲の向上、興味、関心の向上につながった。初の企画として、高校生ボランティアによる縁日コーナーを開催。ワークショップブースの設置、eスポーツを併せて実施したことも集客につながった。 ・コロナ禍で、発表の場がなかった登米高校吹奏楽部が楽しく演奏していたのが印象に残った（アンコールもあった）。地域で活躍する芸能団体、こども達の演舞を披露することが来場者の増員につながった。 ・3年ぶりの凧づくりを通して、講師と参加者の親睦と交流が図られた。 ・明るく、楽しい、明るい空間が作られ、地域の方々に、登米町在住の作家さんがいることを知ってもらえる良い機会になった。 ・色々なイベントが中止になる中、クリスマスの飾り付けを行い、こども達が製作する楽しさとワクワク感を感じることができたことが、大きな成果である。 ・登米市の四季と観光を和歌でつづり叙情的に紹介し、「日本の国のかたち」について学ぶことができた。 ・新規会員募集を大きな目的として、チラシの配布をおこなったが、今年度は新規会員の獲得には至らなかった。 ・会員の高齢化・減少により各芸能団体は後継者不足で存続の危機にあること、また、地域の伝統文化を次世代に残さなければならないことを、登米地域の住民に意識付けすることができた。 ・新会員による発表の場として開催し好評を得ることができた。 ・歌声かふえは、昭和歌謡、童謡等を講師のギター伴奏に合わせて歌うことで、ストレス発散、参加者の交流の場となった。 ・コロナ禍での事業として、ぬりえコンテストを開催。公民館のみならず、町内にも展示することにより、製作の意欲向上、来場者の興味・関心の向上につながり、公民館への来館者数の増加、地域活性も図られた。

(3) 事業名 交流人口増加推進事業

事業費	297,523 円
事業内容	<ul style="list-style-type: none">◆とよま秋まつり盛り上げサポート<ul style="list-style-type: none">・場 所：登米町内・開催予定日：9月17日(土)～18日(日)・内 容：秋まつり実行委員会と情報交換を行ない連携して協働での取組み※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から秋まつりが開催中止。◆第58回とよま凧あげ大会<ul style="list-style-type: none">・会 場：北上川右岸堤防（受付・四阿使用）・開催日：2月5日（日）・内 容：手作り凧の製作を通して創造意欲の向上に努め、市民相互の親睦を図るとともに親子のふれあいを深めた。・参加者：約300人
事業成果	<ul style="list-style-type: none">・3年ぶりの開催となり、伝統ある行事を通して、地域住民の融和と親睦が図られ、コミュニティの活性化につながった。

(4) 事業名 生活福祉支援事業

事業費	19,080 円
事業内容	<ul style="list-style-type: none">◆交通弱者サポートに関する・町内会振興協議会研修会<ul style="list-style-type: none">・会 場：登米公民館（和室）・開催日：7月7日(木)・内 容：デマンド型乗合タクシーの内容とその現状についての検討・出席者：35名（事務局4名）
事業成果	<ul style="list-style-type: none">・町内会長を参集し、交通弱者の交通手段としてデマンド型乗合タクシー導入に向けた研修会を開催し、知識と関心を深めることができた。

(5) 事業名 先進地見聞研修事業

事業費	35,030 円
事業内容	<ul style="list-style-type: none">◆先進地見聞研修<ul style="list-style-type: none">・研修先：岩崎地区交流センター（岩手県北上市和賀町）・開催日：7月15日(金)・内 容：岩崎地区交流センター・岩崎地区青年会虹色の会の概要及び事業内容等の取組み、活動に関する先進事例を学ぶ研修を実施した。・参加者数：12名（事務局2名含む）
事業成果	<ul style="list-style-type: none">・とよまコミュニティ運営協議会理事、JA青年部とで参加。岩崎地区交流センターの展望公園整備事業は、当協議会の課題でもある地域資源活用事業の「憩いの場」づくりに大変参考になった。・具体的な青年団活動事例を学ぶことが、今後の地域づくり活動の充実と参加した

	委員の意識向上につながった。
--	----------------

(6) 事業名 コミュニティ組織運営事業

事業費	203,000 円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆町内コミュニティ組織に対する運営事業交付金の交付 ・ 交付日：6月3日 ・ 内 容：運営協議会の構成団体である3地区コミュニティ推進協議会の課題解決や交流の促進に向けた活動交付金を交付。
事業成果	・ 伝統芸能活動通じて地域住民の交流、親睦が図られた。

(7) 事業名 協議会組織運営費

事業費	96,411 円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆協議会組織運営に資するため以下の経費を支出した。 ・ 備品購入費 ・ 時間外勤務手当 ・ 会議費用弁償
事業成果	・ コロナ禍の影響により、体育大会、盆おどり大会等の参加人数の大きい事業は、リスク回避の観点から中止と判断せざるを得なかった。一方で、感染対策を講じたうえで、文化祭、とよま伝統芸能伝承会、凧あげ大会は実施することができ、世代間の交流が図られた。